

いなづま

題字 小寺 寛一

発行所 函館地方電気工事協同組合

編集総務部

住所 函館市日乃出町7番22号

印刷所 有限会社 畠山印刷



組合会館改築 概要と工事経過 報告について

会館建設委員会

昨年五月の組合総代会において会館建設の承認を得たあと、役員会の中に会館建設委員会を発足させ、会合を重ねて先づ平面図と部屋割り、建物の向きについて検討をしました。

建物の向きとしては、市道放射4号線（日乃出町通り）と直角に建て、空地を駐車スペースとして裏通りに抜けられる案が考えられました。この案は、建物の向きも「東北東」で明るく、車輛の出入りその他何かと使い勝手がよいことは確かでしたが、この方法では旧会館の事務所部分の解体及び仮事務所の確保移転など工事期間中の組合運営や組合員の利便、又経費の面でも繁雑であるとの結論で、現在のように市道放射4号線に平行に建て、南東側前面を駐車スペースとすることに決定した経緯がありました。

大筋の部屋割り等を決めて、建築本体工事及び暖冷房衛生給排水工事の設計を『函館建築設計監理事業協同組合』へ、電気設備工事の設計を『函館設備設計家協同組合』に委託発注をしました。

設計の完了後、各工事の発注に関しては、委員会の最も頭を痛めた点でありました。建築・管・電気と分離発注の方針は決めておりましたが、特に建築本体工事については、我が組合員が建設業界に身をおき、それぞれ建設業者との繋がりがある関係上、特定の建設業者を選定する訳にもいかず、協議の結果『社団法人函館建設業協会』に依頼して指名業者数社を推薦してもらい入札を執行しました。

暖冷房衛生給排水設備工事については、かねてより『函館管工事業協同組合』より、是非組合として受注したいとの強い要望がありましたので、価格折衝のうえ契約をしました。電気設備工事は組合員全員に呼びかけて希望者を募り入札を行いました。

その結果

建築本体工事 加藤組土建株式会社

暖冷房衛生給排水設備工事・函館管工事業協同組合

電気設備工事 青函電気株式会社

に決定し直ちに工事に着手しました。

地鎮祭は六月二十八日、上棟式は十月十一日にとり行ない、鋭意施工の結果、暮れも押し迫った十二月二十日に完成しました。

施設の概要としては、一階は事務室・応接室・計器

保管室・資材倉庫、二階は理事長室・中会議室・資料室・和室(二室)・管理人住宅、三階は大会議室・ロビー・物品庫であります。

各階とも湯沸室・便所を備えました。尚一階倉庫部分に地下倉庫を作り、開口部を設けてホイストで出し入れ出来るようにしました。又一階倉庫の約 $\frac{1}{3}$ に中二階を設け、資材の格納を立体的にしました。

三階の大會議室は三人掛けの折たたみ式机で一三〇人収容で、椅子のみでは約一八〇人～二〇〇人は収容可能と思われます。

一階の倉庫前面部分には、三方シャッター付の鉄骨

上家を設けて、我組合の事業の一つである北海道電力(株)の委託工事の各作業や譲渡資材の格納等に使用し、不用時はシャッターを上げて駐車スペースとする等多目的に利用出来るよう配慮しました。

暖房はFFストップによる各室暖房とし、冷房設備は一階事務室と二階の中会議室に設置しています。又、各階の湯沸室にはそれぞれ深夜電力による電気温水器を置き、コンロは二〇〇ボルト配線によるクッキングヒーターとしました。

本工事は六月二十八日に着工以来、国内景気の好況

による建設業界の最繁忙期とも重なり、内部の仕上げ時期には、各職種の工事が錯綜して大変ご苦労であつたと思われますし、又既存の建物に極めて近接している、やりにくい工事であった訳ですが、吾々の意図する処を充分にくみとつて近代的且つ機能的な設計と適切なる監理業務をして頂いた『函館建築設計監理事業協同組合』並びに三工事施工各社の優れた施工管理と技術力をもつて、無事故無災害で立派に完成した事に対しまして感謝とお礼を申します。

改築に際し組合員の皆様の多大なるご理解とご協力に対し深甚なる感謝を申し上げます。

概　要

所在地　函館市日乃出町七番二二号
敷地面積　七九九、二七m²

施設概要

施　設　竣　工　工　程　計　算　表

構　造	建築面積	延床面積	建築概要
鉄骨造地下一階地上三階	三九〇、五九m ²	一、一一二、四三m ²	一、一一二、四三m ²

基礎 節付六角型中空杭のくい打基礎
外壁 ALCパネルの吹付タイル
屋根 カラーステンレス防水工法

平成元年一二月二〇日

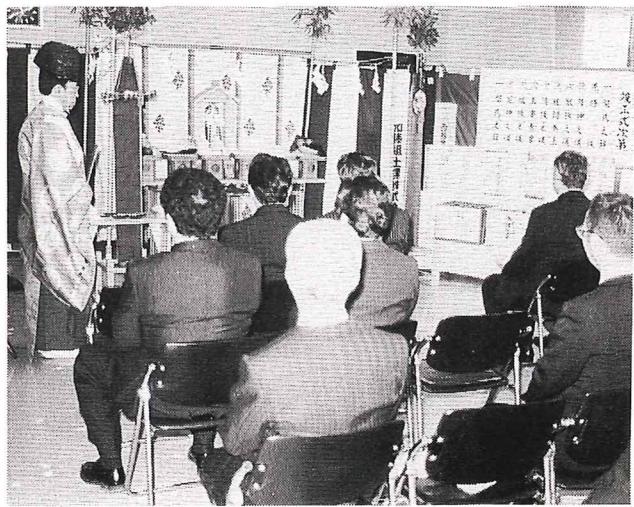
函館建築設計監理事業協同組合

函館設備設計家協同組合

加藤組土建株式会社

青函電気株式会社

一階　事務室、応接室、倉庫、計器室
二階　理事長室、中会議室、資料室、和室、管理人室
三階　大会議室、ロビー、物品庫

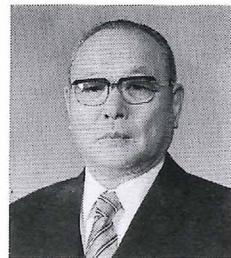


会館落成を祝して

北海道電気

工事業工業組合

理事長 島津 孝吉



平成の世となつて初めて年の年明けにあたり、謹んで函館地方電気工事協同組合の皆様にご挨拶を申し上げるとともに、このたび念願の組合会館がめでたく完成されたことに對し、心からお慶びを申し上げます。

皆様の組合が、終戦後の地域再成にいち早く立ち上がり、二十数名の方々の、固い結束のもとに設立されて以来四十二年。「廢墟からの復興、戦後脱却への長い道程のあと、高度成長とオイルショック・構造不況の激しい上下震動を経て、世紀の青函トンネル開通に至る」昭和の戦後史は、そのまま皆様の歴史であり、幾多の困難を克服されつつ築かれたその実績は、発足当時の十倍に成長した組合員在籍数が雄弁に物語つていると思うのであります。

組合運営の面におきましても、函館協組の前進的発想と賛美かつ効果的な事業經營、全日新聞にも報道された電気使用安全月間のパレードに代表される組織的行動力の見事さは、常に全道各協組の指標として高く評価されてきたところであります。今日こうして立派な組合会館の改築という大事業を成し遂げられたことは、大倉理事長はじめ役職員諸氏の優れた手腕と、所属組合員各位の協力一致の所産であり、改めて熱い拍手を贈り、全道の業界を挙げてお祝いを申し上げる

次第であります。

平成二年の我が業界は、本道経済の動向と同様、引き好況が持続するとの見方が多く、誠に結構なことがあります。が、労働力確保の問題など、周辺環境は依然厳しいものがあり、互いの自助努力と組織の結束強化が益々肝要となつてまいります。また本年の秋九月には、いよいよ第八回電気工事業全国大会が我が北海道において開催され、全国の同業組合員諸君と共に、二十一世紀に向かう電気工事業の意氣を天下に示す機会が訪れます。

ご当地の活性化の先頭に立つて活動しておられる函館協組の皆様にも、その気概をもつて多数の参加と積極的協力を頂き、業界と我が北海道のため、是非ともこの大会を成功させたいと念じているところであります。

結びに、皆様の組合の一層のご發展と、組合員各位の益々のご健勝とご繁栄を祈念申し上げ、お祝いの言葉と致します。

(落成式の祝辞を転載)



役員会だより

第五回役員会

一・九・一四

一、慶弔報告

(1) 濑川電気代表者尊父逝去

(2) (株)ケイソーリー代表者母堂逝去

(3) 谷電気商会代表者怪我入院見舞

(4) 小林電機商会代表者怪我入院見舞

二、貸付報告

三社 一五〇万円

三、各支部報告並提案事項

特記事項なし

四、総務委員会事項

(1) 組合定款(各支部総代定数)の変更認可について

(2) 平成元年年度末特別融資の実施について

(3) 永年勤続者表彰式の実施について

(4) 電気工事業法に基づく登録・届出の店舗用標識の取替えについて

(5) 電気工事整理簿について

(6) 事務局職員燃料手当の支給について

(7) 事務局職員慰安旅行の補助金について

(8) 各単協との比較による見直しについて

(9) 謙渡・譲受加入申込について

マルカタ道南電気工業(有)道南電気工業所

(承認)

五、技術・教育委員会事項

(1) 平成元年度第三・四半期第一種電気工事士資格講習会受講申込者数

(2) 平成元年度二級電気工事技術者特別研修の実施について

(3) 地区北工連絡会委員について

六、事業委員会事項

安全装備品点検について

四社 二〇〇万円
三、道工業組合総代会の報告

各支部それぞれ会議を開催、総代を選出した。

四、各支部報告並提案事項

五、総務委員会事項
渡島支庁による電気工事業法立入検査について

(1) 渡島支庁による電気工事業法立入検査について
(2) 組合脱申込みについて

山本電気商会(廃業)

・ 巴電気工業所(廃業)

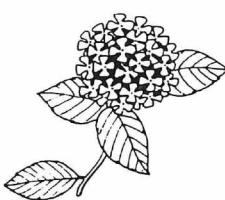


組合行事

9月1日	組合会館改築工事打合せ会議	電気工事業全国大会に大倉理事長、吉田副理長出席(於名古屋市)
8日	道工業組合全道事務局長会議(於帯広市)	北電函館営業所地区北工連絡会議に吉田副理長ほか一一名出席(於組合会議室)
11日	道工業組合正副理事長会議に大倉理事長出席(於札幌市)	組合会館改築工事打合せ会議
13日	正副理事長会議	会計中間監査
14日	第五回役員会	第一種電気工事士資格講習会(於拓銀ビル)受講者二三五名
17日	組合会館改築工事打合せ会議	組合会館改築工事打合せ会議
22日	道工業組合移動役員会に大倉理事長、吉田副理長出席(於釧路市)	赤川支部会議
24日	事務局慰安旅行	中渡島支部会議
27日	中支部会議	道工業組合役員会に大倉理事長、吉田副理長出席(於札電協)
28日	八雲支部森プロック会議	平成元年度年末特別融資委員会
10月2日	組合会館改築工事打合せ会議	組合会館改築工事打合せ会議
9日	八雲支部八雲プロック会議	組合会館建設委員会
11日	江差支部会議	江差支部会議
12日	組合会館改築工事上棟式	組合会館改築工事修祓式
13日	道工業組合冬期間本洲派遣業務打合せ会議に大倉理事長出席(於札電協)	函館地域雇用協議会に細川副理事長出席(於合同序舎)
14日	東支部会議	組合会館改築工事修祓式
15日	自衛隊協力会役員会に大倉理事長出席(於函館ロイヤルホテル)	永年勤続者表彰式(詳細別掲)
16日	組合会館改築工事打合せ会議	中小企業団体事務長会運営委員会に坂本事務局長出席
17日	事業委員会	道工業組合役員会に大倉理事長、吉田副理長出席

平成2年	長出席（於札電協）
1月8日	正副理事長会議
11日	西支部会議
22日	北支部会議
29日	御用仕舞
1月8日	御用始め
11日	総務委員会
12日	中小企業団体事務長会運営委員会に坂本事務局長出席
15日	八雲支部八雲ブロック北電との合同新年会
16日	八雲支部北檜山ブロック北電との合同新年会
19日	八雲支部森ブロック安全祈願祭
20日	中渡島支部会議兼新年会
22日	道工業組合役員会に大倉理事長、吉田副理事長出席（於札幌市）
23日	東支部会議兼新年会
26日	組合会館落成式兼新年会（於ホテル函館口イヤル）
27日	江差支部会議兼新年会
2月6日	道電気工業厚生年金基金役員会に大倉理事長出席（於札幌市）
8日	福島支部会議
9日	第八回役員会
12日	八雲支部森ブロック会議
20日	函館地区北工連絡会議に吉田副理事長ほか委員一五名出席
21日	中渡島支部会議
26日	道工業組合役員会に大倉理事長、吉田副理事長出席（於札幌市）
全日	道工業組合総代会に大倉理事長ほか理事一一名出席（於北海道厚生年金会館）

組合員の異動



組織・代表者・住所の変更

(新)

(旧)

3月8日	第九回役員会
全日	赤川支部会議
9日	中支部会議
10日	東支部会議
全日	中小企業団体中央会道南支部研修会に坂本事務局長出席
13日	北支部会議
14日	経営近代化研修会（於組合会議室）受講者20名
22日	渡島支厅による電気工事業法に基づく立入検査＝延六日間四十五事業所
26日	道工業組合役員会に大倉理事長、吉田副理事長出席（於札電協）
29日	西支部会議
全日	検満計器受払業務打合会議
1月	函館市上磯町中央 2丁目4-22 174-2
2月	函館市上磯町会所町 1丁目23-15
3月	函館市上ノ国電気工業所（江差支部）上ノ国電気工業所 函館市中島町15-11 函館市昭和2丁目23-15
4月	函館市上ノ国電気工業所（江差支部）上ノ国電気工業所 函館市上磯町中央 2丁目4-22 174-2
5月	函館市上ノ国電気工業所（江差支部）上ノ国電気工業所 函館市上磯町中央 2丁目4-22 174-2
6月	函館市上ノ国電気工業所（江差支部）上ノ国電気工業所 函館市上磯町中央 2丁目4-22 174-2

組合員の消息

一、一月一七日	山本電気商会代表者山本昭二 殿母堂山本栄殿ご逝去
一、一月二十四日	尾野電気工事代表者尾野正三 殿母堂加藤千代殿ご逝去
一、二月一六日	榮幸電気商会代表者今野忠幸 殿尊父今野清一殿ご逝去
一、二月二日	協同電気通信株代表取締役石塚悠爾殿尊父石塚賀平殿ご逝去
一、三月五日	ツカ電工代表者塚田喜代春殿 母堂木村ちゑ殿ご逝去
一、三月三十日	小林電機商会代表者小林清殿 ご逝去
一、信平電気工業所（中支部）	
函館市中島町20-19	
函館市中島町6-18	

上磯郡上磯町中央
2丁目4-22
174-2

上磯郡上磯町会所町
1丁目23-15

永年勤続者表彰式

新装成つた組合大会議室で筆作

平成元年度永年勤続者表彰式が、去る十一月十三日
新らしく改築なつた組合会館の三階大会議室において
挙行せられた。

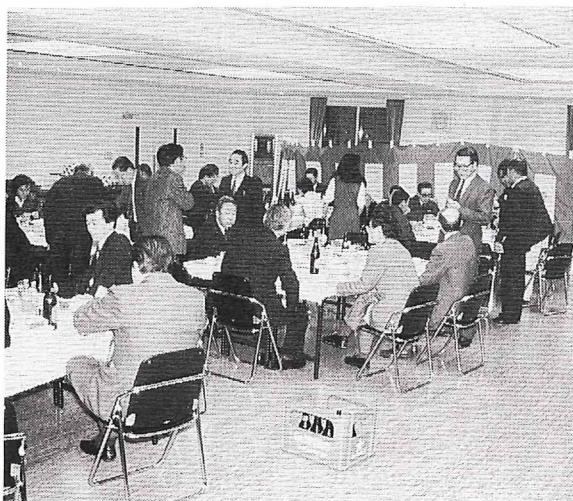
表彰に先立つて、大倉理事長があいさつに立ち、

『組合会館完成後、初めての行事として今日の表彰式

を行なうことが出来、喜びにたえない。受賞者の皆さんが組合員事業所で長年にわたり中堅社員として勤務され、社業の発展、また業界のために貢献されてこられたことに對して厚くお礼を申し上げる。ここ四、五年電気の技術は急速な変化を遂げており、特に事務所や工場のオートメーション化は著しいものがある。業界は現在、技術者不足が深刻な問題となつてゐるが、今後共、それぞれの会社、ひいては業界のために中心



となつて頑張つていただきたい」と述べ、続いて三十一年勤務の秋田正夫さん(有山田電気工事)をはじめ、別記の受賞者二十三人に「長い間ご苦労さまでした」と一人一人に表彰状と記念品を手渡し、労をねぎらつた。



- (1)、試験公示 平成2年6月15日(金)
- (2)、受付期間 平成2年7月2日(月)～7月12日(木)
- (3)、試験日 平成2年8月19日(日)
- (4)、試験地 札幌市、函館市、旭川市、名寄市、北見市、苦小牧市、釧路市の七ヶ所
- (5)、試験の種類 ⑦、札幌市においては甲種・乙種とも全種類
①、札幌市以外の試験地においては、甲種第一類
と同第四類・乙種第六類と同第七類のみ
(6)、合否の発表 平成2年10月1日(月)

平成二年度消防設備士試験及び消火設備士試験準備講習会のお知らせ

組合青年部の第七回通常総会が、去る四月二十三日に五稜郭の三花亭において開催され、会員二十九名のうち十八名が出席した。

大鎌副部長の開会宣言に次いで平沼部長があいさつに立ち『青年部設立後七年を経過し、今後ますます活発に事業活動を展開する。また九月に札幌市で開催される『電気工事業全国大会』には、青年部としても多数の参加をお願いしたい』と協力を要請した。

引き続き議事に入り

- 第一号議案 平成元年度事業報告及び決算報告
第二号議案 全右監査報告
第三号議案 平成二年度事業計画及び予算案

書年部 第七回通常総会開催

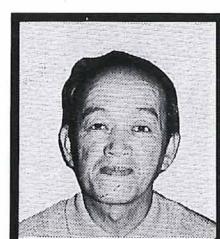
第四号議案 その他

を審議のうえいづれも承認された。

平成二年度の主な事業計画では、研修会も兼ねた電気工事業全国大会の青年部分科会の参加、組合事業への参加及び協力、親睦会等の開催、青年部員の加入拡大などを申し合わせた。また、会員相互のより密接なコミュニケーションと事業活動の活発化を促すために例会を開いてはどうかとの貴重な意見も出され、今年度から取り入れる事とした。

総会終了後、懇親会に移り、組合より大倉理事長、細川、吉田副理事長にも同席して頂き、和気藹々のうちに懇談のひと時を過ごし盛会裡に終了した。

昭和十八年四月、中野高等無線電信学校本科を卒業し、直ちに東京の平原電気商会に入社したのであります。翌十九年五月に応召されました。



小林氏は、大正十年九月十三日茅部郡鹿部村で生まれました。小林氏は、昭和二十三年四月に現在の場所において小林電機商会を開業し、家庭電化製品販売の第一歩を記したのであります。

氏は、良心的にそして優秀な技術をもつて業績を上げ、昭和三十七年十月には当組合に加入、電気工事業の分野えと発展し、昭和四十八年三月からは長男の良治さんの協力を得て現在のゆるぎない礎を築きあげたのであります。

例年になく春の訪れが早く感じられる今日、突然の訃報に接し組合関係者一同はあまりのことにしてただ驚きと哀惜の念に堪えなればかりであります。

あなたの嘗々と積上げた社業は、ご子息が受継ぎ、立派にやつていかれるでしょう。又あなたの残された業績は不滅の道を走るべとなり、私達を激励し業界の一層の發展となることを信ずるものであります。

小林さん、どうか安らかにお眠り下さい。
故人の生前の功績を偲び、謹んでご冥福をお祈りして追悼の記とします。

追悼記

- (4)、受講料 (テキスト代は含みません)
⑦、設備協会員 一人五千円
④、会員以外 一人一万円
(5)、受講申込 7月10日(火)～7月17日(火)まで
(6)、申込方法 消防本部予防課内消防設備協会事務局 (TEL 22-2144)

第8回電気工事業全国大会

開催日 平成2年9月28日(金)

開催場所 北海道厚生年金会館
(〒060 札幌市中央区北1条西12丁目)

TEL (011) 231-9551

集合場所 平成2年9月28日(金) 正午

集合場所 北海道厚生年金会館 1F正面玄関ロビー

第1分科会(組織対策)

◎開催時刻 13:00~14:30

開催場所 3F 清流の間

テーマ 新時代を迎える電気工事業のビジョン

第2分科会(経営対策)

◎開催時刻 13:00~14:30

開催場所 3F れい明の間

テーマ 新時代をめざす電気工事業経営のあり方

大　会

◎開催時刻 14:50~17:00

開催場所 大ホール

懇親会

◎開催時刻 17:30~19:30

開催場所 3F ロイヤルホール

参加支給旅費

旅　費 12,460円(往復)

日　当 8,000円(2日分)

宿泊費 実　費

大自然とロマンの北海道
電気工事業の未来を語ろう

———— ◇ ————— ◇ ————— ◇ —————

*青年部を含め50名の参加要請があります。

ふるってご参加の程お願いします。

———— ◇ ————— ◇ ————— ◇ —————

時代の変化にこたえる感性

総合販社

東芝E&S北海道株式会社

函館支店

函館市大繩町二十二番十四号
電話四一一二一四一

吟味する

松下電工株式会社

函館出張所

函館市西桔梗町五八九番地一〇七
電話四九一一五二五七

工事材料・電化製品

丸晃電気株式会社

函館市西桔梗町五八九一四九
電話四九一一三一三一七

電気設備機器資材の総合卸商社

大興電機株式会社

本社 函館市西桔梗町五八九一〇七
営業所 電話(代)四九一六二二一
山越郡八雲町内浦町一〇六九番七

電設資材・機電総合卸

進和電機株式会社

函館市松川町三四一
電話四二一六二三一

明日をひらく電設資材の総合卸商社

株式会社工三ヤ商会

函館市富岡町一丁目四一
電話四三一三〇一一(代表)
本社 札幌・営業所 刈路 苫小牧

電気工事材料
音響通信機器
総合商社

石垣電材株式会社

函館支店
函館営業所
040 063 060
函館市富岡町一丁目四一
電話四三一三〇一一(代表)
本社 札幌・営業所 刈路 苫小牧

日立電工(株)代理店
松下電線(株)代理店

北進商事株式会社

F電函館市的一場
A電話五五五
X五五町一十九
五五二
三二七
四〇一五号